

水土里ネット ながの情報

2023
NO. 17
春号

長野県土地改良事業団体連合会
土地改良のしるべ



CONTENTS

- 就任あいさつ
- 第65回通常総会
- 役員を選任
- 長野県土地改良事業団体連合会表彰
- 全国土地改良事業団体連合会表彰
- 農業遺産の紹介
- 長野県からのお知らせ
- 人事異動
- 新任のあいさつ
- 新規採用職員の紹介



就任のごあいさつ

長野県土地改良事業団体連合会

会長 藤原 忠彦

このたび、任期満了による役員選任が行われ、引き続き会長を務めさせていただくこととなりました。

これまで、関係者の皆様のご協力をいただきながら、本会の運営及び県内の農業農村整備事業推進に取り組んでまいりました。微力ながら、新たな気持ちで農業農村整備事業の推進に尽力し、より良い会運営に向け精励努力いたす所存でありますので、何卒よろしくお願いたします。

長年苦しめられた新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、社会経済活動の正常化が進みつつある中で、気候変動やロシアによるウクライナ侵攻等の影響により、世界各地で食料価格の高騰や供給不足などが深刻な問題となっております。このような状況の中、安定した食料確保のための農業生産基盤整備の重要性が改めて認識されています。

こうした中、県は第4期食と農業農村振興計画を策定し、計画内で「皆が憧れ、稼げる信州の農業」を施策として掲げ、担い手への農地集積やICTの活用といった生産効率の高い農地の整備を進めることとしています。

本連合会としても、県と連携して高収益作物の導入や、営農の効率化を図るための基盤整備や老朽化し水利施設の更新等、会員の要望にこれまで以上に応えるべく組織の強化を図ってまいります。

また、ご承知のとおり、土地改良長期計画において、土地改良団体の男女共同参画推進が掲げられ、女性理事登用について成果目標が定められました。本連合会は、さきに行われた第65回通常総会において、初めて女性理事を登用いたしました。今後の組織運営や会員支援のあり方等、これまでにない発想で新たな風を吹き込んでくれることを期待しての登用であります。今後も多様な意見を取り入れながら土地改良区の皆様と一緒に男女共同参画を推進してまいりますので、今後とも深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



就任のごあいさつ

長野県農政技監兼農政部農地整備課長

平林 孝保

この4月から農政技監を拝命いたしました。

平素は、本県の農業・農村発展のため、会員の皆様には多大なお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

近年の農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行や担い手の減少による農業生産力の低下、地球温暖化に起因する異常気象や気象災害の頻発化に加え、ウクライナ情勢や円安の進行などによる燃料の価格高騰など、農業経済が大変厳しい状況に置かれるなか、これらの状況の打開に向けた対策が急務となっております。

このような情勢を踏まえ、本県では、食と農業・農村の目指す姿を明確にし、その実現に向けて、全ての関係者が一体となって施策を推進するため、今年度から令和9年度の5か年計画として「第4期長野県食と農業農村振興計画」を策定しました。

また、本計画を補完する実行計画として「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」を策定し、「信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村」の実現を目指し、総合的かつ戦略的に施策を展開してまいります。

具体的には、スマート農業技術の導入、担い手への農地集積・集約化や高収益作物の栽培を可能とする収益性の高い農地の整備、農業水利施設の長寿命化や省エネ・管理省力化に取り組むとともに、防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策や排水機場の更新・増強など、県土強靱化を推進してまいります。

また、農業生産活動を支えている「疎水」、「ため池」、「棚田」といった農業資産には、歴史や物語があり、信州の美しい景観を形成しています。農村を多様な人々の連携により活性化させるため、農業資産の魅力を観光や地域学習に活用する取組も進めてまいります。

今後とも農業・農村の振興のため、全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

令和5年度の事業計画などを議決

本会の第65回通常総会が、3月24日、長野市のホテル信濃路で開催された。

開会にあたり藤原忠彦会長があいさつし、「国、県共に地域の要望に応じた規模の農業農村整備事業予算を継続して確保いただいている中で、本連合会は、会員の皆様からの多様化するニーズに、これまで以上に的確に応じていくために、技術力の更なる強化と、新たな技術者の確保に努めながら、組織の体制強化を図りたい」と述べた。

次に来賓の阿部知事、長野県議会の丸山議長、羽田参議院議員、関東農政局の北林次長が祝辞を述べ、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員及び宮崎参議院議員よりビデオメッセージをいただいた。

総会では令和5年度予算と事業計画などを原案どおり承認した他、任期満了に伴う役員を選任では、理事14名、監事3名の選任が満場一致で承認された。

また、議事終了後、決議書により7項目を決議した。



総会の様子



祝辞を述べる阿部知事

決 議

1. 安定的・計画的な事業執行が出来るよう、地域の要望を満たす予算を、当初予算で確保すること。
2. 高収益作物の導入や営農の効率化を進めるため、水田の畑地化や区画整理など農地の条件整備を一層推進すること。
3. 気候変動の影響に対応するため、農業水利施設の長寿命化対策及び豪雨・耐震化対策を一層推進すること。
4. 農業競争力強化のため、スマート農業の導入を促す基盤整備や、ICT、AI等の先進技術を活用した施設管理の省力化・高度化を一層推進すること。
5. 持続可能な農業構造の実現のため、農業水利施設の省エネ化・再エネ利用、農地整備を契機とした環境保全型農業を推進すること。
6. 農地や農業用水等の整備と適切な維持管理を継続するため、農業農村工学技術者の確保・育成のための支援を行うこと。
7. 土地改良団体の男女共同参画推進のため、段階的な取組目標や事例を示しながら積極的な支援を行うこと。

第65回通常総会

◎任期満了に伴う役員改選

新たに大村理事、小林理事、吉澤監事、和田監事が就任

第65回通常総会で、任期満了に伴う役員の選任が行われた。本会の定款に基づき、各支部から選ばれた選衝委員が協議し、理事候補14名、監事候補3名を総会に諮り、満場一致で承認された。任期は、2023年4月1日から2027年3月31日までの4年間。

理事に選任された14名は、定款に基づき、会長1名、副会長2名、専務理事1名、常務理事1名を互選し、会長に藤原忠彦氏、副会長に牛越徹氏、羽田健一郎氏、専務理事に白鳥公晴氏、常務理事に所弘志氏が選任された。

監事に選任された3名は、規約に基づき代表監事の選任について協議し、中澤政幸氏が就任された。

・新たに就任された理事



大村理事



小林理事



吉澤監事



和田監事

◆理事 (定数14名)

役職名	所属支部	氏名	所属役職名
会長	員外	藤原忠彦	学識経験者
副会長	北安曇	牛越徹	大町市長
副会長	上小	羽田健一郎	長和町長
専務理事	員外	白鳥公晴	学識経験者
常務理事	員外	所弘志	学識経験者
理事	佐久	大村公之助	南牧村長
〃	諏訪	五味武雄	原村長
〃	上伊那	小田切康彦	宮田村長
〃	下伊那	下平喜隆	豊丘村長
〃	木曾	大屋誠	上松町長
〃	松本	中田平男	長野県中信平左岸土地改良区理事長
〃	長野	峯村勝盛	飯綱町長
〃	北信	湯本隆英	中野市長
〃	員外	小林みずき	学識経験者

◆監事 (定数3名)

役職名	所属支部	氏名	所属役職名
代表監事	佐久	中澤政幸	五郎兵衛用水土地改良区理事長
監事	上伊那	吉澤幸男	駒ヶ根市大田切土地改良区理事長
〃	長野	和田博次	川田土地改良区理事長

長野県土地改良事業団体連合会

第62回事業功労者表彰 本会永年勤続職員表彰

本会は、第65回通常総会の席上、第62回事業功労者表彰式を行い、これまでに農業農村整備事業の振興促進に尽力した17名及び本会永年勤続職員3名が受賞した。

受賞者を代表して、前飯山市長の足立正則氏が謝辞を述べた。



受賞者の皆様



謝辞を述べる足立前市長

1. 第62回事業功労者表彰

所属支部	氏名	団体名・役職名(受彰日時点)
佐久	矢島 武之	(前)立科土地改良区 理事
	小林 将一	(前)佐久市土地改良区 監事
	秋山 瞳	佐久市土地改良区 会計主任
上伊那	田畑 公平	(前)伊那市原田井土地改良区 理事長
	牧田 弘	(前)伊那市原田井土地改良区 副理事長
	桐嶋 咲子	駒ヶ根市大田切土地改良区 職員
下伊那	毛涯 大樹	長野県小渋川土地改良区 事務局長
松本	平林 建彦	長野県拾ヶ堰土地改良区 理事長
	二木 照雄	長野県拾ヶ堰土地改良区 理事
長野	米沢 一美	河東土地改良区 理事長
	呉羽 一布	(前)小布施土地改良区 理事長
	横川 正知	(前)信濃町長
	長沼 健	長野県善光寺平土地改良区 理事長
	永井 一正	長野県善光寺平土地改良区 理事長代理
	西澤 武夫	長野県善光寺平土地改良区 理事
	轟 衛	長野県善光寺平土地改良区 理事
北信	足立 正則	(前)飯山市長

2. 本会永年勤続職員

氏名	役職名(受彰日時点)
三井 裕司	本部事務局事業課土地改良区支援室長兼換地地籍係長
岡部 雅樹	北信事業所技術係長
吉川 敬太郎	東信事業所佐久支所技術係長

全国土地改良事業団体連合会 第64回全国土地改良功労者表彰



第64回全国土地改良功労者等・農業農村整備優良地区コンクールの表彰式が、3月23日、東京都のシエーンバツハ砂防で開催された。

土地改良功労者等表彰は、団体では、農林水産大臣表彰5地区、農林水産省農村振興局長表彰3地区、全土連会長表彰57地区、個人では、115名が表彰され、長野県からは、団体表彰2地区、個人表彰3名が受賞した。

農業農村整備優良地区コンクールは、農業振興部門9地区、中山間地域等振興部門7地区が受賞した。



宮崎事務局長（左）と酒井理事長（右）

【団体】

賞	団体名	代表者（受彰日時点）
全土連会長表彰	伊那市手良土地改良区	酒井 望（理事長）
全土連会長表彰	木島平村大塚沖土地改良区	梅 崙 行 弘（理事長）

【個人】

賞	氏名	摘要（受彰日時点）
全土連会長表彰	降 旗 豊 美	高瀬川右岸土地改良区 理事長
全土連会長表彰	長 沼 健	長野県善光寺平土地改良区 理事長
全土連会長表彰	奥 原 崇 晃	高瀬川右岸土地改良区 事務長

日滝原頭首工

管理者：長野県日滝原土地改良区

県下有数の樹園地帯を支えるかんがい施設

土地改良区の概要

- ・所在地 須坂市大字日滝1734-1
- ・関係市町村 須坂市・高山村
- ・設立年月日 昭和41年1月21日
- ・受益面積 713 ha (R4.4.1 現在)
- ・組合員 1,477人

日滝原地区は、須坂市の市街地の北東部、上高井郡高山村の一市一村に及ぶ地帯で、千曲川の支流松川によって形成された扇状地を一円とする、樹園地帯です。かつては、松川流水が鉱毒水のため使用できず、水源にも恵まれない干ばつ地帯でしたが、昭和41年から県営かんがい排水事業により頭首工のほか揚水機場やかん水施設が整備され、果樹の品質向上と増収が実現し、県内でも有数の果樹生産団地へと変貌を遂げました。

日滝原頭首工の概要



日滝原頭首工

地区の西方を流れる八木沢川に設置された取水施設。ゴム製のゲート（ラバーダム）を膨らませ、川を堰上げ取水を行い、標高差約100mを上る導水路をへて第1～第3揚水機場に送水されます。



かん水施設

受益地全体を20のブロックに分け、さらに各ブロック内のスプリンクラーを20のローテーションで切り替え散水を行っています。受益地に約10,500本設置されたスプリンクラーを約1,070個の電磁弁で制御しており、これらは改良区に設置された中央処理装置から、中継設備を通じて管理されています。



生産されたシャインマスカット

長野県日滝原土地改良区の中村さんにお話を伺いました

○管理について

毎年4月に、改良区職員及び各ブロックのかん水係員で、漏水等の問題がないか検査を行っています。

散水時間については、受益地内に看板を設置して、ローテーションの表を掲示していますが、代替わりした若い組合員の方から自宅や外出先など、どこでも確認出来るようにできないかと要望があり、HPを利用したローテーションの通知を行っています。

○今後の課題・展望について

設立当初の生産品目はりんご、もも、ブドウ等だったのが、近年ブドウ品種の生産が増加しています。更にブドウの中でも、シャインマスカットやナガノパープル、クイーンルージュ、更にはワインブドウなど、品種の細分化が進んでいます。例えば、ナガノパープルやクイーンルージュは、乾燥した状態から一気に水を与えると、果実が割れやすく、繊細な水管理が求められます。しかし、現在は、筆や品目ごとではなく、電磁弁のある所から一定間隔でスプリンクラーを設置し、散水を行っているため、品種ごとの細かい水需要全てに対応することが難しいのが現状です。施設の多くが造成から50年以上経過して老朽化が進行しており、今後大規模な更新を行う場合、費用の面だけでなく、現状に合わせた新しい散水システムについても課題となっています。

この辺りは果樹の一大生産地で、収穫期の秋になると道路沿いに直売所が多く並び賑わいます。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で開催できていませんが、農協主体のブドウ祭等、秋の味覚を楽しめるイベントが盛りだくさんです。是非一度須坂にいらしてください。

『信州棚田魅力発信フェア』を銀座NAGANOで開催しました

長野県には「つなぐ棚田遺産」に認定された15か所の棚田をはじめ、広い県土に多くの魅力的な棚田があります。

この貴重な財産である棚田を都市住民の方々に知っていただき、観光や棚田オーナー制度への参加など、棚田の保全に繋げることを目的として、令和5年2月11日～26日に、「つなぐ棚田遺産」認定1周年を記念して「信州棚田魅力発信フェア」を信州棚田ネットワーク主催により銀座NAGANOで開催しました。



▲棚田フェアのチラシ（表・裏）

物販

フェアでは、棚田で育まれた美味しい棚田米やその棚田米で造られたお酒をはじめ、棚田に関する商品を販売するとともに、美しい棚田を紹介する写真展示など棚田の魅力を発信しました。

販売商品	棚田数	備考
お米	8	野沢沖、稲倉、よこね、八重堀、姨捨、市野川、福島新田、青鬼
お酒	5	野平、姨捨、市野川、山室、小谷
その他		甘酒、味噌、ブラウニー、紫米チップス、玄米パスタ、米飴



▲銀座NAGANO1階での物販状況

銀座では販売が厳しいといわれるお米が健闘。開催4日目で、2kgタイプのお米が完売しました。

オーナー制度説明会

2月12日（日）には5階イベントスペースでオーナー制度説明会を開催しました。

「稲倉の棚田（上田市）」「小谷村棚田群（小谷村）」「山室の棚田（伊那市）」の3つの棚田の保全団体の方からオーナー制度の内容や地域の魅力について、来訪者に説明をしていただきました。

説明会参加者からは、「棚田について興味を持った。」「実際にお会いして話が聞けて勉強になり、益々保全活動に協力したくなった。」などの声が聞かれました。



▲オーナー制度説明会の様子

◎人事異動(農林水産省)

農林水産省農村振興局 (4月1日付)

農村政策部

地域振興課

中山間地域・日本型直接支払室長
(大臣官房地方課災害総合対策室長)

野中 振拳

整備部

設計課

計画調整室長(北陸農政局農村振興部設計課長)

渡邊 泰浩

海外土地改良技術室長
(農村振興局総務課調査官兼農村振興局整備部設計課付)

鷺野 健二

水資源課

施設保全管理室長
(農村振興局総務課調査官兼農村振興局整備部水資源課付)

志村 和信

農地資源課

多面的機能支払推進室長
(東北農政局土地改良技術事務所長)

栗田 徹

防災課

災害対策室長(農村振興局農村政策部地域振興課課長補佐)

能見 智人

農林水産省農村振興局退職 (3月31日付)

農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室長

北田 裕道

農村振興局整備部水資源課施設保全管理室長

吉田 健一

農林水産省関東農政局 (4月1日付)

地方参事官

各省調整(大臣官房政策課調査官兼農村振興局整備部農地資源課付)

平山 和徳

農村振興部

洪水調節機能強化対策官

(輸出・国際局国際地域課国際専門官)

稲垣 融一

設計課

課長(鳥根県農林水産部農村整備課長)

竹中 一行

都市農村交流課

課長(大臣官房新事業・食品産業部食品流通課課長補佐
(食品サービス第1班担当))

小柳 正彦

土地改良管理課

課長(東北農政局農村振興部土地改良管理課長)

村上 豊

農村環境課

課長(農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課課長補佐
(鳥獣利活用技術班担当))

橋本 潤二

事業計画課

課長(岩手県農林水産部農村計画課企画調査課長)

茂田 剛

農地整備課

課長(関東農政局農村振興部設計課水利計画官)

柄澤 昭司

地域整備課

課長(農村振興局整備部設計課課長補佐(海外技術班担当))

加藤 孝

防災課

課長(畜産局飼料課飼料専門官)

若田 展正

農林水産省関東農政局退職 (3月31日付)

農村振興部洪水調節機能強化対策官

大黒 理

農村振興部土地改良管理課長

飯田 博隆

農村振興部農村環境課長

前薊 博幸

農村振興部防災課長

竹内 幸市

◎人事異動(長野県)

県 (4月1日付)

農政部

部長(農業技術課長)

小林 茂樹

次長(消防課長)

柳沢 剛

農政技監兼農地整備課長(農地整備課長)

平林 孝保

農地整備課

主任専門指導員(佐久地域振興局農地整備課長)

柄澤 昇

企画幹(防災担当)(農地整備課企画幹兼計画調査係長)

小松 俊一

企画幹兼計画調査係長(農地整備課課長補佐兼水利係長)

小林 忠俊

企画幹兼農地・水保全係長

(長野地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

遠藤 竜政

課長補佐兼水利係長

(上田地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

安永 浩和

課長補佐(防災担当)

(北アルプス地域振興局農地整備課水利防災係長)

山田 淳一

佐久地域振興局農地整備課

課長(諏訪地域振興局農地整備課長)

中村 克彦

企画幹兼計画調査係長

(南信州地域振興局農地整備課課長補佐兼計画調査係長)

江口 照壽

上田地域振興局農地整備課

課長補佐兼計画調査係長

(上田地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

名取 静香

課長補佐兼基盤整備係長

(松本地域振興局農地整備課水利係担当係長)

横山 達

諏訪地域振興局農地整備課

課長(農地整備課企画幹(防災担当))

釵持 和紀

副参事兼課長補佐兼計画調査係長

(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼水利係長)

村瀬 敏

上伊那地域振興局農地整備課

課長補佐兼水利係長

(佐久地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

安田 和雄

南信州地域振興局農地整備課

課長(北アルプス地域振興局農地整備課長)

小林 照男

課長補佐兼計画調査係長(農地整備課計画調査係担当係長)

坂本 充

木曾地域振興局農地整備課

課長補佐(松本地域振興局農地整備課課長補佐兼防災係長)

小出 晃裕

松本地域振興局農地整備課

課長補佐兼水利係長(農地整備課課長補佐(防災担当))

二木 秀幸

課長補佐兼防災係長

(長野地域振興局農地整備課課長補佐兼基盤整備係長)

菱澤 昌彦

北アルプス地域振興局農地整備課

課長(農地整備課企画幹兼農地・水保全係長)

市川 智由

長野地域振興局農地整備課

課長補佐兼管理係長(長野地域振興局農地整備課管理係長)

矢島 武

課長補佐兼計画調査係長

(上伊那地域振興局農地整備課課長補佐兼水利係長)

加藤 憲一

課長補佐兼基盤整備係長(東信会計センター主任工事検査員)

小幡 淳

課長補佐兼地域整備係長

(長野地域振興局農地整備課計画調査係担当係長)

水谷 浩史

北信地域振興局農地整備課

課長(佐久地域振興局農地整備課企画幹兼計画調査係長)

小山 浩之

◎人事異動(長野県土地改良事業団体連合会)

長野県土地改良事業団体連合会 (4月1日付)

本部事務局	事務局長(事業課長)	吉沢 透
総務企画課	副参事兼総務企画課課長補佐兼総務係長 (総務企画課課長補佐兼総務係長)	中村 雄二
	課長補佐兼経理係長兼企画係長(総務企画課経理係長兼企画係長)	瀧澤 龍
	企画係主事兼事業課土地改良区支援室主事(総務企画課企画係主事)	坂本草太郎
事業課	事業課長兼水土里情報センター所長(副参事兼南信事業所下伊那支所長)	桑原 政明
	対策幹 リニア整備関連事業担当下伊那支所駐在(本部事務局事業課 災害対策幹下伊那支所駐在)	小金澤 勉
	対策幹 リニア整備関連事業担当南信事業所駐在(中信事業所所長補佐 兼換地地籍係長)	今井 智浩
	事業課管理指導係参与技術指導幹兼ため池サポートセンター参与 技術指導幹(新規採用)	本田 徹
	技術係長(本部事務局事業課技術係主任 全国土地改良事業団体 連合会派遣)	栗山 徹
	技術係技師(中信事業所技術係技師)	船坂みずき
	事業課付(中信事業所北安曇支所技術係技師)	最上 風馬
	事業課付(北信事業所技術係技師)	堤 渚太郎
	技術係試働職員技師(新規採用)	間澤 隆之
	技術係試働職員技師(新規採用)	堀内つくし
	技術係試働職員技師(新規採用)	寺嶋 飛雄
	技術係試働職員技師(新規採用)	廣瀬 竜司
	技術係試働職員技師(新規採用)	宮川 唯織
	推進員(再任用)	畔上 克己
	東信事業所	推進員(再任用)
東信事業所佐久支所	所長補佐兼技術係長(中信事業所木曾支所所長補佐兼技術係長)	市川 雄一
	所長補佐兼技術係長(東信事業所佐久支所技術係長)	西沢 悟
	技術係主任(東信事業所佐久支所技術係技師)	小森 浩正
南信事業所	所長補佐兼技術係長(東信事業所佐久支所所長補佐兼技術係長)	吉川敬太郎
	技術係長(技術係主任)	堀内 祐児
南信事業所下伊那支所	支所長(南信事業所所長補佐兼技術係長)	福与 顕一

中信事業所

所長補佐兼技術係長（中信事業所技術係長）
換地地籍係主任（南信事業所換地地籍係技師）
技術係技師（東信事業所佐久支所技術係技師）

横田 一成
中田 将之
有賀 康博

中信事業所木曾支所

支所長（東信事業所所長補佐兼技術係長）

小林 功二

中信事業所北安曇支所

副参事兼所長補佐（北信事業所所長補佐兼技術係長）
技術係長（東信事業所技術係長）

高野 禎夫
小林 寛知

北信事業所

副参事兼所長補佐兼換地地籍係長（北信事業所所長補佐兼換地地籍係長）
所長補佐兼技術係長（本部事務局事業課課長補佐兼技術係長）
北信維持管理事務所所長兼維持管理係長兼環境計量証明事務所所長兼環境計量係長（北信維持管理事務所所長補佐兼維持管理係長兼環境計量係長）
所長補佐兼技術係長（北信事業所技術係長）
換地地籍係長（本部事務局事業課技術係長 長野県農政部農地整備課派遣）
技術係主任（北信事業所技術係技師）
技術係技師（南信事業所技術係技師）
推進員（再任用）

町田 和久
小滝 卓也
小山 聖史
岡部 雅樹
菅沼 洋平
轟 太吾
田中 奨
高橋 博久

退職（3月31日付）

事務局長
副参事兼中信事業所木曾支所長
北信事業所北信維持管理事務所所長兼環境計量証明事務所所長
本部事務局事業課水土里情報センター所長兼課長補佐兼技術係長
北信事業所所長補佐兼換地地籍係長地籍担当
中信事業所所長補佐兼技術係長
本部事務局事業課技術係主任兼管理指導係主任
東信事業所佐久支所技術係技師
南信事業所諏訪支所技術係技師
南信事業所任期付職員

畔上 克己
早水 登
高橋 博久
戸澤 裕二
小山田 忍
坂上 克彦
内藤 昌平
小林 峻
佐藤 龍我
白鳥 英二

新任のごあいさつ（4月1日付）



本部事務局長 吉沢 透

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

4月1日付で事務局長を任命されました吉沢 透と申します。

農業者の減少や高齢化など農業構造の変化、食料の安全保障問題に加え、異常気象による大規模災害の発生など、農業農村を取り巻く環境が大きく変化する中、農業農村整備事業の役割は一層重要となっています。

長野県においても、中山間地域での農業農村整備事業の実施や多面的機能の維持・保全のための課題、県土強靱化のため防災対策実施の推進等の課題が多い状況ですが、こうした課題解決のため、会員の皆様方の附託に応えられるよう全力で取り組んで参りますので、今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



南信事業所下伊那支所長 福与 顕一

本年度より下伊那支所長に就任いたしました福与です。微力の身ではございますが、会員の皆様の負託に応えるため職務に尽力させていただく所存でございます。

下伊那支部は14市町村2改良区を会員とし運営しております。面積は大阪府や香川県より広く、地域により様々な課題を抱えており内容も多岐に及んでいます。近年、リニア中央新幹線開通に向けて機運が高まっている地域でもあり、農業農村の保全による地域の人々の健全な営みや、農ある暮らしを求める移住者の方々の定着や交流人口の増加が求められています。南信州の豊かな自然や農村の風景を守り、営農が継続できる基盤づくりに取り組んでいきたいと思っております。

会員の皆様には、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中信事業所木曾支所長 小林 功二

令和5年4月より木曾支所長を拝命した小林です。木曾地域への赴任は22年ぶり2回目になります。昨年度までは大規模な災害への技術的な対応や、経年劣化による農業用施設の機能維持に対する機能診断、基礎調査、事業計画の策定に携わってきました。

木曾地域の農業は、山という地域資源を生かしながら、持続可能な農業の取り組みや地域の経済発展に貢献している重要な産業です。

本年度からは木曾支所の窓口としての役割を果たすとともに、会員の皆様の付託に応えるべく、今までの経験から得た技術と知識を活かしたサービスを提供していきます。

長野県土地改良事業団体連合会は会員の皆様と一緒に、農業農村整備事業推進に尽力いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

新規採用職員の紹介（4月1日付）



よろしくお願いいたします



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 間澤 隆之

この度本部事務局事業課に配属されました間澤 隆之です。今回、連合会の一員として迎えていただけることを大変うれしく思うと同時に、社会人として歩んでいく事に不安を抱いております。

農業土木については分からない事が多いので皆様方にご迷惑をおかけすると思いますが、連合会での業務を通じて、戦力としてだけでなく人として成長していきたいと考えていますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 堀内 つくし

この度、本部事務局事業課に配属されました堀内つくしです。新社会人として毎日緊張しておりますが、連合会の一員として温かく迎え入れて頂けたことを大変うれしく思います。社会人として、一人の人間として、まだまだ未熟な点があり、皆様にはたくさんのご迷惑をおかけすることと思いますが、何事にも誠実に取り組み一つずつできることを増やし、連合会のお役に立てるように努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 寺嶋 飛雄

この度、本部事務局事業課に配属されました寺嶋飛雄です。新社会人として、連合会の一員として迎えていただいたことを大変うれしく思います。

学生の身から社会人になるということで、不安と緊張でいっぱい皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様の力になれるよう日々精進していく所存でございます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 廣瀬 竜司

この度、本部事務局事業課に配属されました廣瀬竜司です。連合会の一員として周りの方々から暖かく迎えて頂き、身の引き締まる思いです。

専務理事のあいさつでいただいた「若い世代として、常にどういう方向に進むべきか考えて仕事する」といった言葉を胸に、先輩方の方法を大事にしながらも自分のやり方を持って仕事に取り組んでいきたいと考えております。

いろいろとお聞きすることがあると思いますが、連合会の力になれるように精一杯努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



本部事務局事業課技術係試庸職員技師 宮川 唯織

この度、本部事務局事業課に配属されました宮川唯織です。

まだ高卒一年目ということで対人関係や社会のこともあまり知らず不安なこともあります。これから先色々なことに触れて、知れるということに期待も感じております。先輩方に助けていただくことも多いと思いますが一日も早く戦力になれるよう努力いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



表紙写真紹介 ————— 菅平温水ため池〈あやめ池〉（木祖村菅）

標高1,000mに造られた農業用ため池で、池の畔はアヤメ園として親しまれており、6月に見ごろを迎えます。木祖村の稲作は、用水の低温障害に悩まされていましたが、昭和48年にこの温水ため池が築造されたことにより米の生育が良くなり、木祖村の農業は大きく発展しました。現在も貴重な農業用水として40haの水田を潤しています。農林水産省「全国ため池百選」に選定されています。

文：信州の農業遺産魅力ガイドより（長野県 農政部 農地整備課 発行）



みどり
水土里ネットながの
土地改良のしるべ

発行：令和5年5月（年4回発行）
発行所：長野県土地改良事業団体連合会
〒380-0838 長野市大字南長野字宮東452番地の1
TEL026-233-4281 <http://www.nag-doren.or.jp>
土地改良のしるべ編集人：白鳥 公晴